



涼川 梨（すずかわ・しおり）

- ・名門私立S学園2年1組、18歳。
- ・160cm、スリーサイズ82,60,85。交際経験なし。
- ・成績優秀、品行方正の優等生。クラス委員。
- ・人がよくて、押しに弱い。クラス委員も頼まれてやむなく引き受けた。
- ・ポニーテールがよく似合う美少女。学園中の男子の人気ナンバー1。学園祭ミスコンへの出場を誘われたが断った。
- ・気取らない性格で女子にも人気がある。一部、男子からの人気を妬む女子あり。

PART 1

～写真部からのモデル依頼～

《S学園・放課後の美術室》

【宮田洋】（お、いい表情！
ちやおう！）

気付かれないように撮つ

《カメラを構え何枚も撮影》

（パンチラ撮れそうで撮れないな

【涼川琴】《シャッター音に気付く》
「あれ？……宮田くん？」

(あ、ばれちゃった……)

「涼川さん、なんで美術室にいるの?」

「うん、さつきまで美術のモデルしてたから、なんとなく残つてた」

「さすが、ミスS学園候補の栢ちゃんだね」



「違うよ、急にモデルが来れなくなつたからって、友達に無理やり頼まれちゃつて」

「そつか。それなら一つお願ひがあるんだけど……」

「え、何?」

「写真部のモデルにもなつてくれないかな? 今度のコンテストに出したいんだよね」

「写真はちょっと無理。もつと可愛い子にお願いして」

「涼川より可愛い子なんて……ちょっと考えてみてよ」

《一週間後》

「あー、やつと試験終わつたー」

「涼川、ちよつといい? ……この前の件、どうかな?」
(おお、太もも丸出し!)

「え、何のこと?」

「……だから、写真部のモデルの件」

「それって、断つたよね?」

《洋の視線に気づき、姿勢を直す栞》



「そんなこと言わないでさ、俺を助けると思って」

「いつもノート貸してるのは私なのに、なんで宮田くんを助けないといけないの？」

「実は締め切りが明日でさ、他に可愛い子がないんだよ、お願ひ！」

「え、今日撮るってこと？」

「急でごめん。でも、今回出さないと、活動記録が無いつてことで予算切られちゃうんだ」

「……仕方ないなあ。でも、今日は1時間しかないよ」

「服はそのままいいから。ありがとう！」



『早速屋上で撮影開始。カメラ部員は洋を含め5人』

「これでいいの？」

「うん、いい笑顔だよ」

【他の部員】「最高ですよ、涼川さん」「これならコンテスト入賞できそうです」「もつと撮らせてください」

(やっぱ、いいケツしてるなー(笑))



『部員たちのおだてに茉もだんだん乗つてくる』

「今度はそこでジャンプしてよ」

「え、恥ずかしいなあ……」

「ほら、可愛く手を上げて、高くジャンプ！」

「う、うん……」



「可愛い！」 「もつと笑つて！」 「最高！」

（おい、この辺の床にカメラ設置してあるよな）

（ああ、こつそり確認してみようぜ）

(お、撮ってる！エロい太もも)

(白いパンティ、可愛いな(笑))

(ちょっとピンボケだな)

《洋に小さく合図を送る部員たち》



「よく撮ってるよ。もう一步、左に移動してくれる?
(そこならピント合うよな?)」

「え、この辺?」

「そうそう。今後は片手を突き上げてジャンプして!」

「う、うん……」

「えい！ こんな感じ？」

「いいよいよ、もう一回！」（ちゃんと撮れよ）

「え、また？ ジャンプばっかりだよね？」

「涼川って上品なイメージあるからさ、逆に弾けた方がいいんだよ」

「ふーん、じゃあもう一回ね」

「そのボーナスもいいね」

（よし、シャッターチャンス）

（今度は、ピントあつただろ、確認しよう）



(お、ピントばっちり。お尻可愛い！)

(ふりふりのお尻いいね)

(前も撮りたいな)

《もう少し後ろへ、と洋に合図を送る部員たち》

「最高だよ、涼川！ 最後にもう一回、ちょっとだけ後ろに下がつてジャンプしてくれる？（まさか真下にカメラが埋め込まれてるとは思わないよね）

「この辺かな？ あのさ、下着見えてないよね？」

「全然見えてないよ！」（俺からはね）



「えーまたあ？……えい！」

「おい、どんどんよくなってるね」（よし、これなら完璧に撮れてるはず）

「ほんと？でも、もういいよね？」



（おおお、完璧！）（ど真下から撮れた！）（エロい！
ちょっと可哀想（笑））

「オッケー！ これなら入選間違いない！（笑）」

PART 2

～ミスコンでフラフープ～

『S学園・朝の登校時間』

【北原由愛】「おつはよう。今日も可愛いね！」

【涼川栞】「おはよう。やめてよ、恥ずかしい」

「今度のミスコン、やっぱり出るんだね？」

「え、断つたけど」

「でも、文化祭のHPに載つてるよ」
「そんなはずな……あ、まさか……」
「ひよつとして、勝手に応募されちゃったとか？」

『放課後の教室。怒る茉に必死に説明する洋たち』

「結局、私に内緒で勝手にミスコンに応募したわけ?」

「あ、うん、まあ……その、流れでと言うか」

「私、ミスコンなんて絶対に出たくないんだけど」



「ごめん。だけどさ、普通の写真コンテストはなかなか入選が難しくて……」

「使った写真が学園のミスコンの優勝者になつたらそれなりに実績になるつてことで」

「変な理屈。それに私、園城寺さんたちに念を押されてたんだから、学園祭のミスコンには出ないつて」

「でも、男子のアンケートでは出場希望1位だし」

「そろそろ、やっぱり一番可愛いのは涼川だからさ」

「そういうの一番いや。女子を外見だけ見てる感じで」

（お、ちょっと笑った、いけるぞ！）

「本当にごめん。だけどさ、もう予備選考終わっちゃつたし、今さら人数減らせないし」

「そんなこと言われても……」



「ごめん」「頼む！」「写真部を助けて！」

「もう、仕方ないなあ……出るだけでいいのね？」

「ありがとう！」

「よかつた！」「やっぱり涼川さんは優しいな

（やつぱり押しに弱いな（笑））

翌週、文化祭のミスコン

栢の突然のミスコン出場を快く思わない園城寺結花。ミスコンの運営委託会社の主催者と協力して、2つの罠を仕掛ける。

出場直前に「ミスコンテスト出演に係る特別契約書」を提示され、皆が契約しているからと言わされた栢は細かく読まずにサイン。

『S学園学園祭・ミスコン会場』

【司会者】「5人のファイナリストの登場です！」

「みんな可愛いな」「園城寺さん赤リボンが派手だな」「でも胸がなさそう」「涼川はおっぱいでかいな（笑）」

【園城寺結花】（胸がなくて悪かつたわね）

（あーあ、やっぱり出たくなかつたな）



【司会者】「それでは、得意の芸を一つずつ披露していただきます。皆さん、用意はしていますよね?」

「あの……聞いてなくて、準備していないんですが」

「困りましたねえ……それでは、フラフープを用意していますので、1分間回してもらいましょう」

「おおお!」

「ミースカでフラフープ!」「生パンが見

れるかもな(笑)」

《会場が歓声と拍手に包まる》

「そ、そんなこと、できません!」

《耳元に小声で》「キミ、文化祭ぶち壊すつもり?」
（そんなこと聞いてないのに……でも、他にできることないし……）「分かりました」

「はい、涼川さんは急遽、フラフープをすることになりました!」《どよめきと歓声が起きたる》

【結花】（ふふ、うんと恥を晒すといいわ（笑））

「園城寺結花さん、英語スピーチありがとうございます……それでは2番目。涼川栞さんのフラフープです！」

《おおおつと歓声、パチパチパチと拍手》
（ひどい、みんなカメラ構てる……大丈夫、このスカートなら、捲れたりしない）

《会場全員の注視を浴びながら、ゆっくりと腰を回し、フラフープを回す栞》



「おお、エロい！」《あちこちからフラッシュ》

《スカートは緩やかに揺れ続け、太ももの半ばまで露出。恥ずかしそうな笑みが観客を惹きつける》

「おお……」「いいねえ」「可愛いんだけど……」「色っぽいけど……」「見えないな」(ため息)

「あの、もうよろしいでしょうか？」(エッチな目で見られるなんて、最低)

「まだ35秒です。あと25秒頑張ってください」「よし、パンチラ見れるかも!」

（まだ半分ちょっとなの……大丈夫、このまま回してればいいのよ）



《写真部用の前列席からこつそり撮影する洋たち》

「ここからなら撮れると思つたんだけど」

「……ちょっとしか見えないな」「今日も白だな」「フラフー。うまいな」「太ももは工口いんだけど」

「もつと手を伸ばせよ」

「え、誰かに見つかりそただけど」「このチャンスを逃すな」「動画七ードでならいいカットあるかも」



REC

「もうすぐ終わるぞ」「はい、撮影終了」「データ俺にもくれ（笑）」「全員で共有な」

1600×900 HQ

1080p 45min 1/60 F3.5

00:40:28
©ILLUSION

「よし、ここからならよく見えるな（笑）」「ばつちり撮れてる」「ケツ振り工口過ぎ」

《学園祭ミスコン・最終結果発表》

【司会者】「ミスS学園は……2年生の涼川栞さんです！」

「おおお！」「圧倒的だよな」「清楚っぽくていいな」

「突発のフラフープも逃げなかつたしな」

《パチパチパチ、会場が拍手に包まれる》

「涼川さん、今どんなお気持ちですか？」

【涼川栞】「ありがとうございます。とても意外で、すごくびっくりしています」（本当は、外見で判断されるのは嫌なんだけど……）

【他の出場者】「最初は出ないって言つてたのよね」「直前エントリーなんてずるいよね」「クラスメイトが勝手に応募したとか言つてたよ」「絶対嘘だよね」

PART 3

～健康診断で盗撮～

翌週

結局、栞がミスS学園となり、準ミスとなってしまった
結花。栞への復讐のため、写真部に目をつける・・・

《翌週。廊下で3人の女子に呼び止められる洋》

「結花」「写真部つてさ、女子を盗撮してるよね?」

「え、なんのこと?」(やばい、ばれたか?)

「涼川さんに屋上でジャンプさせたり、ミスコンで最前列からパンチラ撮つたり……」

「あ、いや、それは……」

「ほら、これが証拠」《スマホ画面を見せる》

「こんな動画撮るなんてねえ。これで写真部は廃部ね」



(話をそらさなきや) 「そう言えば園城寺さん、文化祭準ミス、おめでとう!」 「そうそう、さすがだね!」

「同じクラスの涼川さんがミスで、私が準ミスつて、すごくダサくない?」

「い、いや、そんなこと……」 (まずい、逆効果だ)

「まあ、ある意味話が早いわね。写真部さんに、ちょっとお願いがあるんだけど」

「何? できることならするからさ……」

「分かってるわよ、盗撮の件は黙ってあげる。その代わり、涼川さんにちょっとお灸を据えるの手伝つてよ」



『健康診断。結花により盗撮を指示された写真部』

「先生」あら涼川さん、また胸が大きくなつたわね

「もう、からかわないで下さい」

「由愛」「えーっと、160センチ」

「洋」「よし、ばっちり撮れた」

「今日は水色の横縞か」「ダサイけど可愛いな」「白い肌
がエロいな」「オツパイあるよな」

「あ、ちょっと待つて、ずれてるかも……」「ほら、時間
稼ぎしてあげるからちゃんと撮つてよ（笑）」



『携帯端末で通話』「後ろからも撮れてるか?」

「ああ、何とか」「相変わらずいいケツ(笑)」

「よし、これで園城寺たちとの約束は果たしたな」

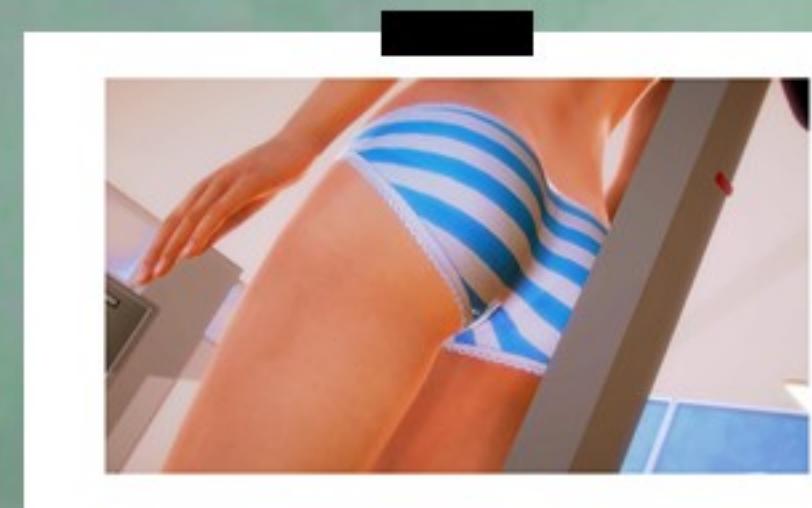
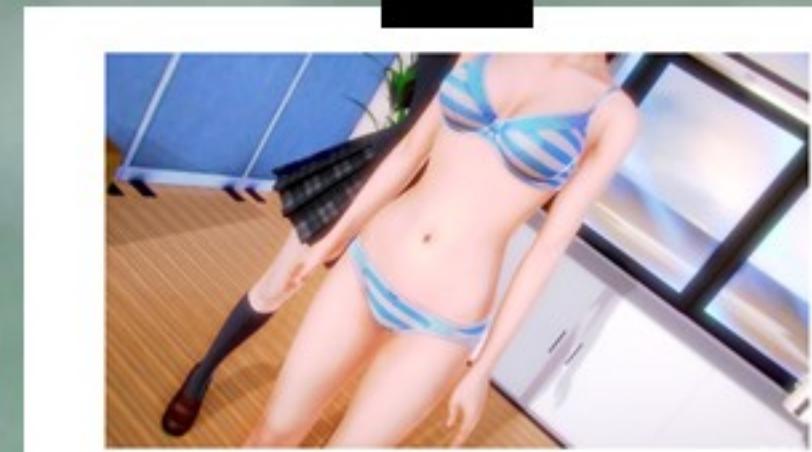
「けど、この写真どう使うのかな?」「お仕置きとして
ばらまくのかな」「女は怖いな(笑)」

健康診断翌日

栄の健康診断を写真部に盗撮させた結花たちは、
早朝の学校で黒板に写真を貼り付ける。
顔は省いて、警告の意味を込めて。

『朝、登校してきた栞は、黒板に貼られた2枚の写真を見て立ち尽くす』

「え、何、これ!」（私の健康診断!）



「誰が貼ったんだよ（笑）」「エロい身体だな」「オッパイ結構あるよな」「ケツもふりふり!」「ホーテが映ってるけど、誰かなあ?」

「クラス委員にお任せしようつて待ってたんだよね」
（ふふ、エロダンスでミスコン取った罰よ）

『一瞬の沈黙の後、冷静さを取り戻す栞』

「いつたいたい誰？ こんな卑怯なことをしたのは」
（絶対に負けない……もしかして、結花さん達？）



『敢えて写真を剥がさず、毅然と話す栞に教室が静まる』

「……こんなことをされて、被害者の子がどう思うか、
よく考えてください。この写真は私が処分しておきます」

（へえ、たいしたもんね……今、私の方をわざと見た
やつぱり気づいた？（笑））

『その後も栄は今までと変わらず、優等生として学校生活を続け、ミスS学園として男子からちやほやされる』

「ですから、この部分の計算は……となります」

【数学教師】「さすが涼川、国立入試レベルの問題なのに余裕だな」

「すつげえ」「可愛いのに頭いいって最強だな」「ミニスカフラフープも、健康診断盗撮疑惑も、全部プラスになってるな」「逆に清楚感増してるよな」

（何が清楚よ。もう絶対、許さない……）

—

—

使用したプログラム・素材等

- 本作品は、ILLUSIONの「ハニーセレクト～コンプリートパック～」を使用して作成しています。[\(http://www.illusion.jp/preview/honey_party/index.php\)](http://www.illusion.jp/preview/honey_party/index.php)
- また、イリュージョン公式ページに投稿のキャラデータやシーンデータを活用しています。その他、個人HPに掲載の服なども使用しています。各作者の方に感謝いたします。
- 本作品のコンテンツの著作権は ILLUSIONに帰属し、販売等は認められていません。転載・販売等は行わないようお願いします。